

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	歴史特論
科目基礎情報					
科目番号	104230		科目区分	一般 / 選択必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	生物応用化学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	〈教材〉資料プリント、〈参考文献〉佐伯徳哉著『出雲の中世－地域と国家のはざまー』吉川弘文館2017年				
担当教員	佐伯 徳哉				
到達目標					
1、古文書・古絵図・考古資料や科学的分析を手掛かりに歴史を総合的に再構成して論じることができる。 2、日本史の全体の動きとも関連付けながら地域の歴史を論じることができる。 3、地域の史跡・文化財等を主体的に調査し、歴史の動きと今日に伝えられた伝統文化との関係について発表できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	古文書・古絵図・考古資料・科学分析を相互に関連させながら歴史を再構成し文章で表現できる。		古文書・古絵図・考古資料・科学分析個々から歴史を再構成し文章で表現できる。		古文書・古絵図・考古資料・科学分析個々の内容が理解できない。
評価項目2	日本史の全体の動きの座標に地域の歴史を位置づけ文章で述べるができる。		日本史全体の動きと地域の歴史を相互に関連づけながら文章で述べることができる。		相互の関連を述べるができない。
評価項目3	地域の史跡・文化財から調査対象やテーマを自ら選び、歴史の座標に位置づけながらその歴史的・文化的意義ならびに今日的意義について述べるができる。		地域の史跡・文化財から調査対象やテーマを自ら選び、歴史を座標に位置づけながら説明することができる。		地域の史跡・文化財の個別的説明しかできない。
学科の到達目標項目との関係					
問題解決能力・自己向上力 (D)					
教育方法等					
概要	日本の主要な神社のひとつである出雲大社の古代から中世の巨大神殿造営・遷宮体制の変遷を説明することを通じて、日本古代から中世の国家体制のありかたとその変化を考える。過去の神社の建造物や境内景観を復元考察して現在のそれらと比較することを通して、その時代の政治社会体制や文化のありように即して神社の姿がどのように変化するかを明らかにする。また、以上を考え・明らかにする過程で、日本古代・中世の体制史の諸問題について再考する。				
授業の進め方・方法	講義形式、発表形式、作図作業、古文書読解作業とデータ分析				
注意点	3年生の歴史2で勉強した古代・中世の歴史をおさらいしておいてください。そのうえで、2年生の歴史1で勉強した世界史のうち、東アジア史の動きを思い出しながら、また、世界の主要な宗教の内容や特徴と比較しながら本授業の内容を理解できるとよいでしょう。				
本科目の区分					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス		
		2週	現在の出雲大社の境内と社殿	古文書・古絵図・考古資料・科学分析個々から歴史を再構成し文章で表現できる。	
		3週	西暦2000年 出雲大社境内遺跡発掘調査情報から考える	古文書・古絵図・考古資料・科学分析個々から歴史を再構成し文章で表現できる。	
		4週	鎌倉時代の巨大神殿の想定復元図を描く（作業）	古文書・古絵図・考古資料・科学分析個々から歴史を再構成し文章で表現できる。	
		5週	鎌倉時代の巨大神殿の想定復元図を描く（考察）	古文書・古絵図・考古資料・科学分析個々から歴史を再構成し文章で表現できる。日本史全体の動きと地域の歴史を相互に関連づけながら文章で述べるができる。	
		6週	古代の文献に見える出雲大社	古文書・古絵図・考古資料・科学分析個々から歴史を再構成し文章で表現できる。日本史全体の動きと地域の歴史を相互に関連づけながら文章で述べるができる。	
		7週			
		8週	摂関政治時代の体制と出雲大社顛倒詐称事件（1）	古文書・古絵図・考古資料・科学分析個々から歴史を再構成し文章で表現できる。	
	2ndQ	9週	摂関政治時代の体制と出雲大社顛倒詐称事件（2）	日本史全体の動きと地域の歴史を相互に関連づけながら文章で述べることができる。	
		10週	院政時代の政治体制と出雲大社の造営・遷宮（1）	日本史全体の動きと地域の歴史を相互に関連づけながら文章で述べるができる。	
		11週	院政時代の政治体制と出雲大社の造営・遷宮（2）	日本史全体の動きと地域の歴史を相互に関連づけながら文章で述べるができる。	
		12週	平氏政権から鎌倉時代成立期の政治体制と出雲大社の造営・遷宮（1）	日本史全体の動きと地域の歴史を相互に関連づけながら文章で述べることができる。	
		13週	平氏政権から鎌倉時代成立期の政治体制と出雲大社の造営・遷宮（2）	日本史全体の動きと地域の歴史を相互に関連づけながら文章で述べることができる。	
		14週	鎌倉時代の政治史と出雲大社造営・遷宮（1）	日本史全体の動きと地域の歴史を相互に関連づけながら文章で述べることができる。	
		15週	期末試験		
		16週	期末試験返却	日本史全体の動きと地域の歴史を相互に関連づけながら文章で述べることができる。	

後期	3rdQ	1週	鎌倉時代の政治史と出雲大社造営・遷宮（２）	日本史全体の動きと地域の歴史を相互に関連づけながら文章で述べることができる。
		2週	出雲大社造営の遅滞と鎌倉幕府体制の変容（１）	古文書・古絵図・考古資料・科学分析個々から歴史を再構成し文章で表現できる。
		3週	出雲大社造営の遅滞と鎌倉幕府体制の変容（２）	古文書・古絵図・考古資料・科学分析個々から歴史を再構成し文章で表現できる。
		4週	鎌倉時代の出雲大社領と開発一所領目録の解説一（１）	古文書・古絵図・考古資料・科学分析個々から歴史を再構成し文章で表現できる。
		5週	鎌倉時代の出雲大社領と開発一所領目録の解説一（２）	古文書・古絵図・考古資料・科学分析個々から歴史を再構成し文章で表現できる。
		6週	鎌倉幕府の崩壊と出雲大社一後醍醐天皇綸旨を読む一（作業）	日本史全体の動きと地域の歴史を相互に関連づけながら文章で述べることができる。
		7週	南北朝の動乱と出雲大社一後醍醐天皇綸旨の解説一（作業）	日本史全体の動きと地域の歴史を相互に関連づけながら文章で述べることができる。
		8週		
	4thQ	9週	南北朝・室町幕府体制における出雲大社造営（１）	日本史全体の動きと地域の歴史を相互に関連づけながら文章で述べることができる。
		10週	戦国時代から江戸時代初頭における出雲大社（２）	日本史全体の動きと地域の歴史を相互に関連づけながら文章で述べることができる。
		11週	伊予の平安・鎌倉時代史	日本史全体の動きと地域の歴史を相互に関連づけながら文章で述べることができる。古文書・古絵図・考古資料・科学分析個々から歴史を再構成し文章で表現できる。
		12週	地域文化財の調査研究発表	地域の史跡・文化財から調査対象やテーマを自ら選び、歴史を座標に位置づけながら説明することができる。
		13週	地域文化財の調査研究発表	地域の史跡・文化財から調査対象やテーマを自ら選び、歴史を座標に位置づけながら説明することができる。
		14週	地域文化財の調査研究発表	地域の史跡・文化財から調査対象やテーマを自ら選び、歴史を座標に位置づけながら説明することができる。
		15週	学年末試験	
		16週	試験返却 総括	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野		
				世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	3
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3
		公民的分野		人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	3
				自己が主体的に参画していく社会について、基本的な人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	3
		現代社会の考察		現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3

評価割合

	試験	研究発表・態度	相互評価		合計
総合評価割合	70	30	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0